

平成22年9月期 決算説明資料

(平成21年10月1日 ~ 平成22年9月30日)

平成22年 12月 17日

ひとを大切に。自然を大切に。

ホウライ株式会社



目次 ~ CONTENTS

1. 平成22年9月期決算概要	
1-1 業績サマリー	1
1-2 営業収益・営業総利益の実績	2
1-3 事業部門別実績	4
1-4 営業利益・経常利益・当期純利益の実績推移	7
2. 「中期業務計画」概要	
2-1 概要	8
3. 平成23年9月期業務計画概要	
3-1 計画サマリー	9
3-2 事業部門別施策	10
3-2 営業収益・営業利益の計画	11
3-3 経常利益・当期純利益の計画	12
(ご参考) 主要な経営指標等(実績)の推移	13
(ご参考) 事業内容のご案内	14

本資料の見通し(予想値)は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため 実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により、予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、本資料に記載の金額(実績)については、百万円未満の金額は切り捨てて表示しております。

1-1 平成22年9月期 業績サマリー



(単位: 百万円)

	第126期実績 (平成21/9月期)	第127期実績 (平成22/9月期)	前期比	増減率(%)
			-	/
営業収益	5,852	5,554	-298	94.9
営業総利益	1,038	984	-54	94.7
経常利益	893	804	-88	90.1
当期純利益	538	503	-35	93.5

・観光・ゴルフの両事業が消費マインド低迷の影響を大きく受け、不動産事業でも企業のコスト削減を目的とした事務所縮小・撤退の動きの中で一部空室が発生し、営業収益は、5,554百万円(前期比298百万円減)となりました。

・営業原価は、不動産の大型修繕工事の減少と全社的にローコスト・オペレーションを推進しコスト削減に取り組んだ結果、全体で4,570百万円(前期比243百万円減)となり、営業総利益は984百万円(前期比54百万円減)となりました。またマーケットからのゴルフ会員権買取りに伴う消却益は前年を下回り、経常利益は804百万円(前期比88百万円減)となりました。

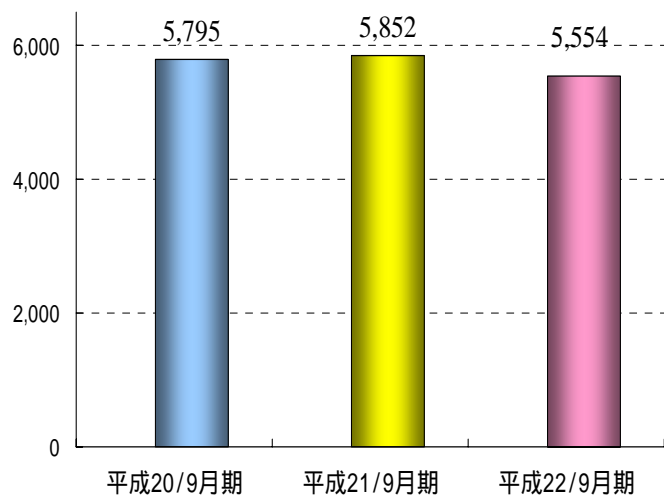
・最終的な当期純利益は、503百万円(前期比35百万円減)となりました。

1-2 平成22年9月期 営業収益・営業総利益の実績(その1)

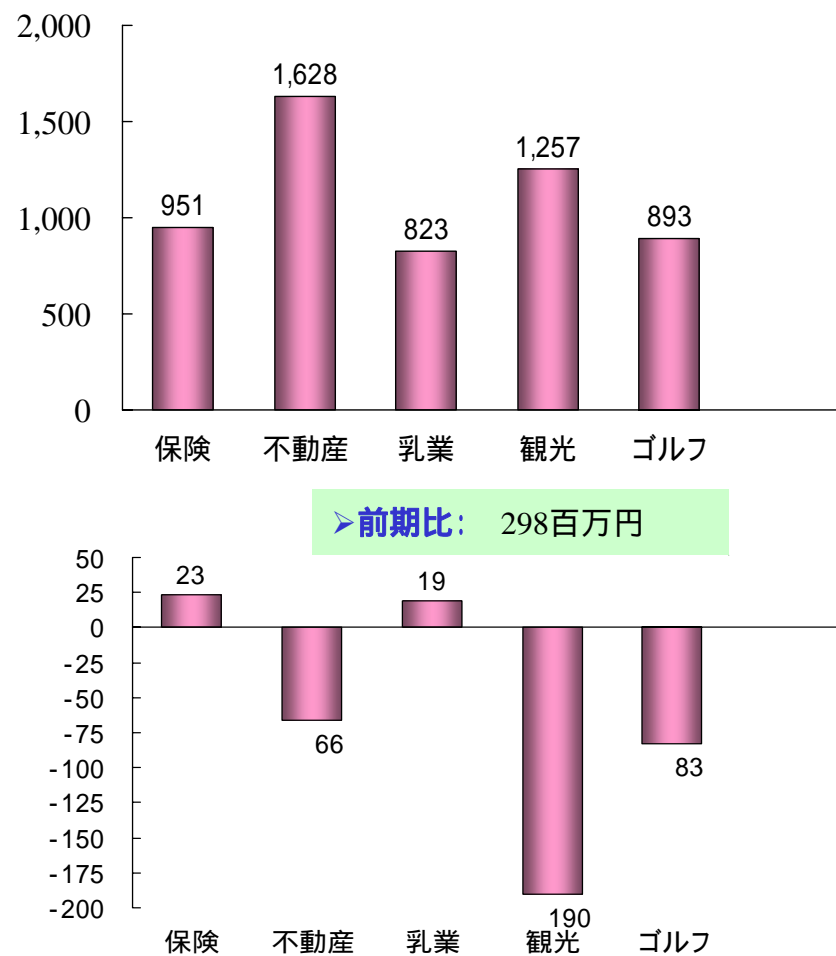


営業収益

(単位:百万円)



部門別内訳

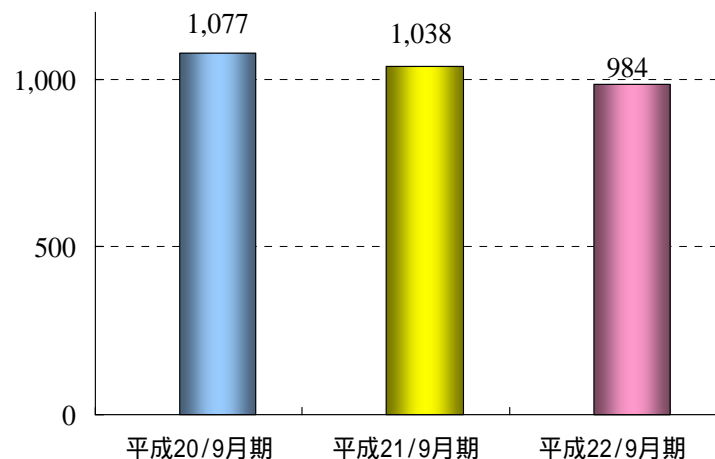


1-2 平成22年9月期 営業収益・営業総利益の実績(その2)

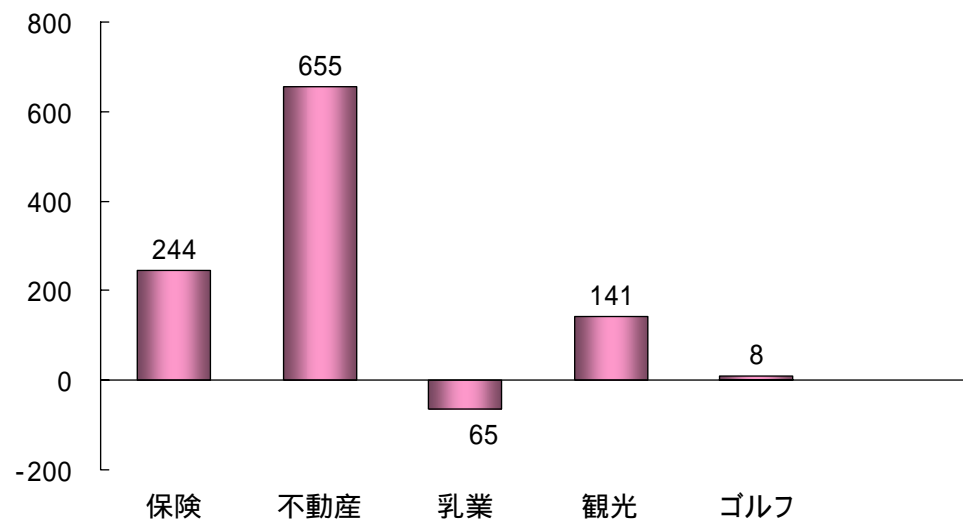


(単位:百万円)

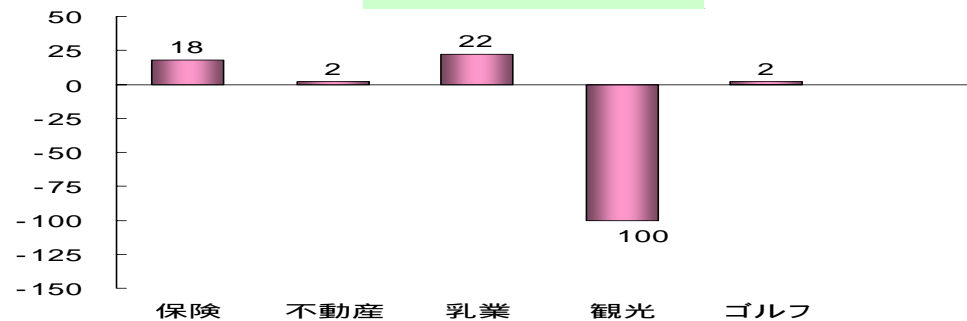
営業総利益



部門別内訳



▶ 前期比: 54百万円

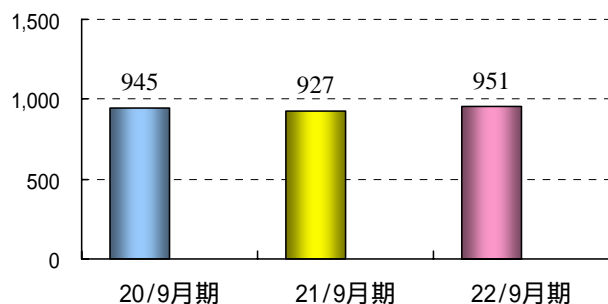


1-3 事業部門別実績(その1)

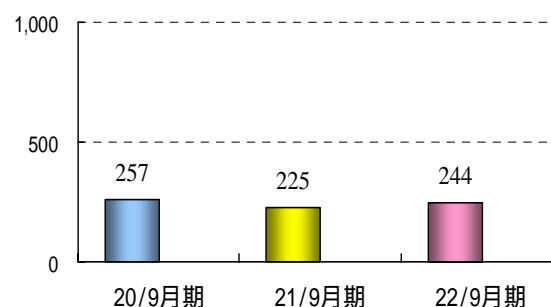
保険事業

(単位:百万円)

< 営業収益 >



< 営業総利益 >

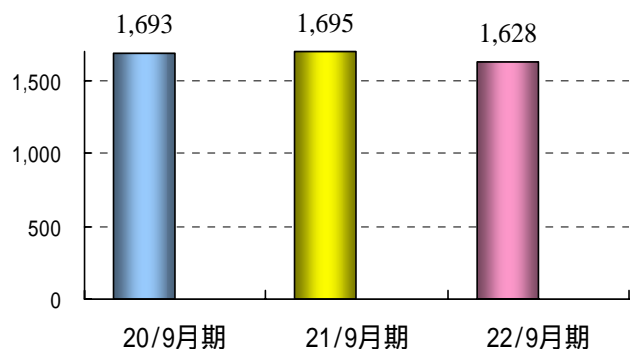


保険事業

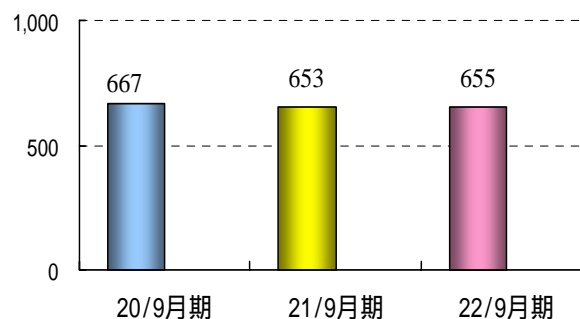
厳しい業界環境下、コンサルティング営業を強化し、きめ細かくニーズを掘り起こした結果、生命保険分野が増収となり、営業収益は951百万円(前期比23百万円増)となりました。営業原価も前年を上回りましたが、営業総利益は244百万円(前期比18百万円増)となりました。

不動産事業

< 営業収益 >



< 営業総利益 >



不動産事業

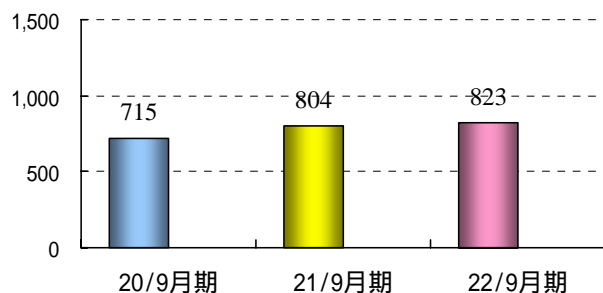
一部空室が出た影響により、営業収益は、1,628百万円(前期比66百万円減)となりました。一方、大型改修工事の減少により営業原価が減少したため、営業総利益は655百万円(前期比2百万円増)となりました。

1-3 事業部門別実績(その2)

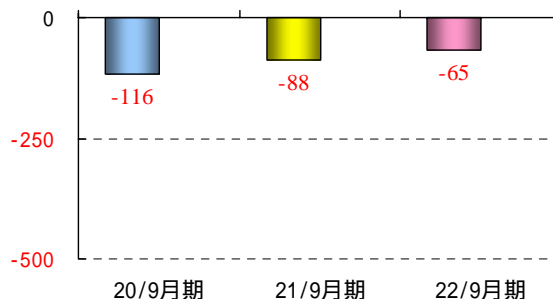
乳業事業

(単位:百万円)

< 営業収益 >



< 営業総利益 >

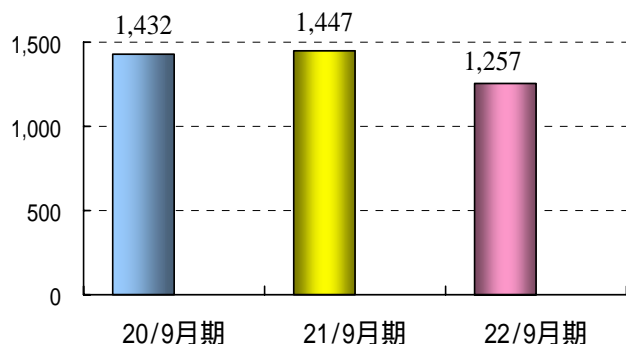


乳業事業

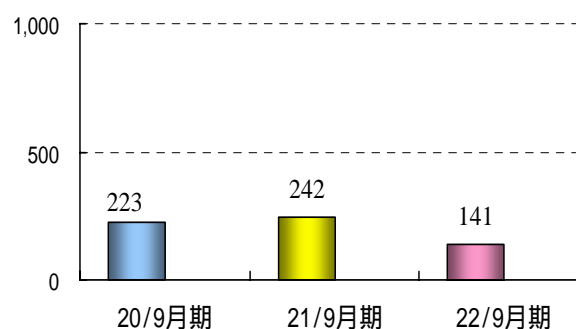
販路拡大、ギフト売上増加等に全社を挙げて取り組んだ結果、営業収益は823百万円(前期比19百万円増)となりました。営業原価は前期を下回り営業総損失は縮小し65百万円(前期比22百万円改善)となりました。

観光事業

< 営業収益 >



< 営業総利益 >



観光事業

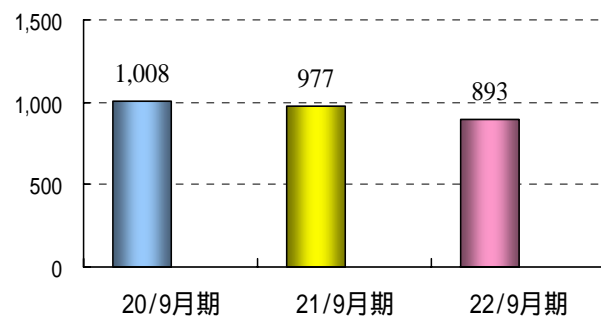
消費マインドの低迷と、天候不順や期初のインフルエンザの流行により来場者数が減少し、営業収益は1,257百万円(前期比190百万円減)となりました。新アトラクションは営業収益獲得に一定の効果があったものの原価率が上昇し、営業総利益は141百万円(前期比100百万円減)となりました。

1-3 事業部門別実績(その3)

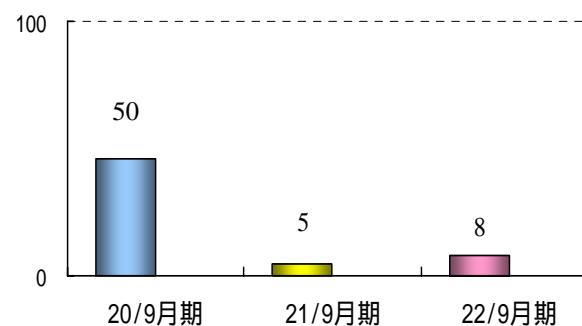
ゴルフ事業

(単位:百万円)

< 営業収益 >



< 営業総利益 >



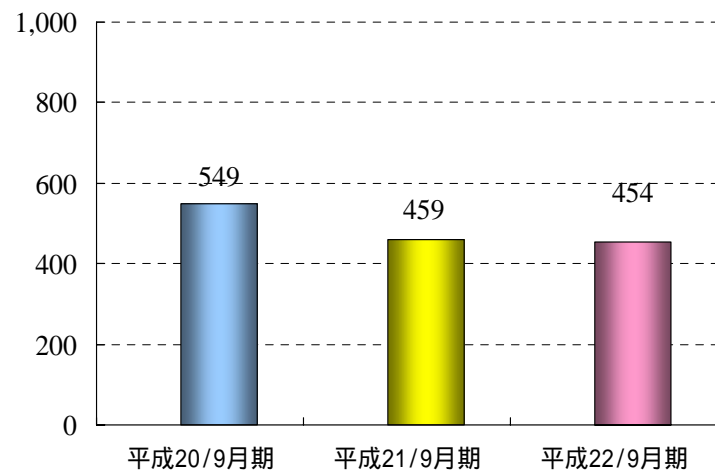
ゴルフ事業

記録的な猛暑、雷雨、積雪などの天候不順や消費マインドの低迷から来場者数が減少し、営業収益は893百万円(前期比83百万円減)となりました。一方、営業原価は人件費を中心に削減し、営業総利益は8百万円(前期比2百万円増)となりました。

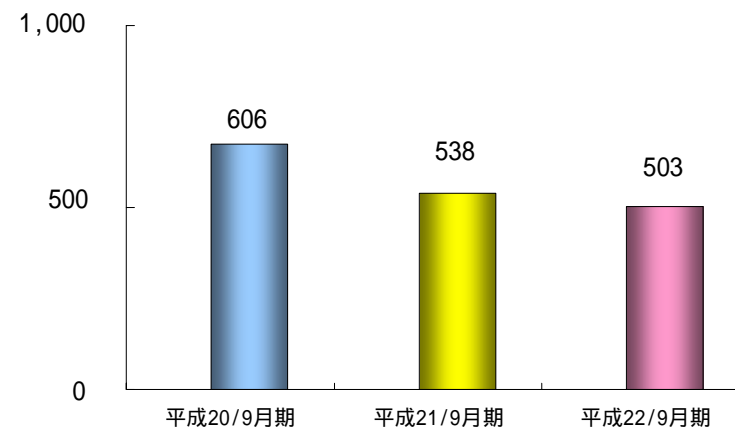
1-4 営業利益・経常利益・当期純利益の実績推移

営業利益

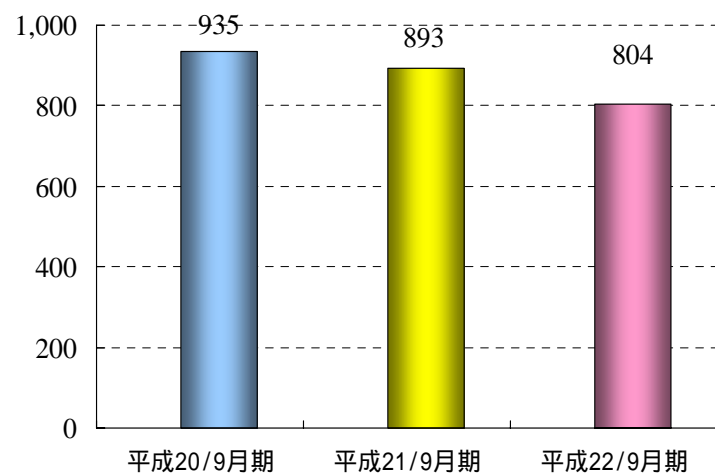
(単位:百万円)



当期純利益



経常利益



2-1 「中期業務計画」概要

1.実績および見直し後の数値計画

(有価証券報告書ベース、単位:百万円)

	22/9実績	23/9計画 (当初計画)	23/9計画 (見直し後)	計画差異	前年実績比
営業収益	5,554	6,080	5,720	360	165
営業利益	454	570	460	110	5
経常利益	804	980	680	300	124
当期純利益	503	610	380	230	123

* 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予測数値と異なる可能性があります。

2.見直しの理由

当社は昨年、平成22年9月期～23年9月期の2ヶ年計画を策定し、達成に向けた取り組みを実施してまいりました。

しかし、海外景気の後退や急激な円高を受けて国内景気の先行きも不透明さを増す状況となっていることから、平成23年9月期の中期業務計画における数値計画を修正することといたしました。

なお、次年度以降の新中期業務計画については、平成23年9月期中に策定を行う予定です。

3-1 平成23年9月期 計画サマリー

(単位:百万円)

	前期実績 (平成22/9月期)	今期計画 (平成23/9月期)	前期比
営業収益	5,554	5,720	+165
営業利益	454	460	+5
経常利益	804	680	-124
当期純利益	503	380	-123

・海外景気の後退や急激な円高を受けて、国内景気の先行きも不透明さを増す中、増収を図り、営業収益は5,720百万円(前期比165百万円)、営業利益460百万円(前期比5百万円増)を予定しております。ゴルフ会員権の買取り消却益は減少を見込み、経常利益680百万円(前期比124百万円減)、当期純利益380百万円(前期比123百万円減)を予定しております。

3-2 平成23年9月期 事業部門別施策

保険事業

少子高齢化の進展、景気悪化等により市場が縮小傾向にある中、保険会社の再編への対応も含め、正確で効率的な事務基盤を確保し、新規取引開拓とお客様とのリレーション強化、トータル・リスクマネジメント・サービスの充実による差別化戦略を推進することが課題であり、これにより収益増強に注力してまいります。

不動産事業

景気低迷により都内のオフィスビルの空室率が上昇、平均賃金が下落傾向にある中、計画的かつ適切な投資によりビルグレードの維持・向上を図るとともに、テナントとのコミュニケーションを良くし、テナントに満足いただけるビル運営に努め、安定的な収益確保に注力してまいります。

乳業事業

食品の安全性を第一に考えて、引き続き衛生管理・品質管理を徹底します。また、販売基盤の強化と在庫管理の徹底による原価低減を進め、黒字化をめざします。販売強化のためには、牧草から育てる一貫生産体制、遺伝子組換えでない飼料、低温長時間殺菌の特色を訴求するとともに、引き続き製品開発も進めてまいります。

観光事業

景気動向や天候に業績が左右される事業特性がありますが、外部環境の変化を適時適格に把握し、入場無料・駐車場無料をアピールして観光客の誘致に努めるとともに、引き続き施設の整備・拡充を推進し、観光牧場としての魅力を高めてまいります。

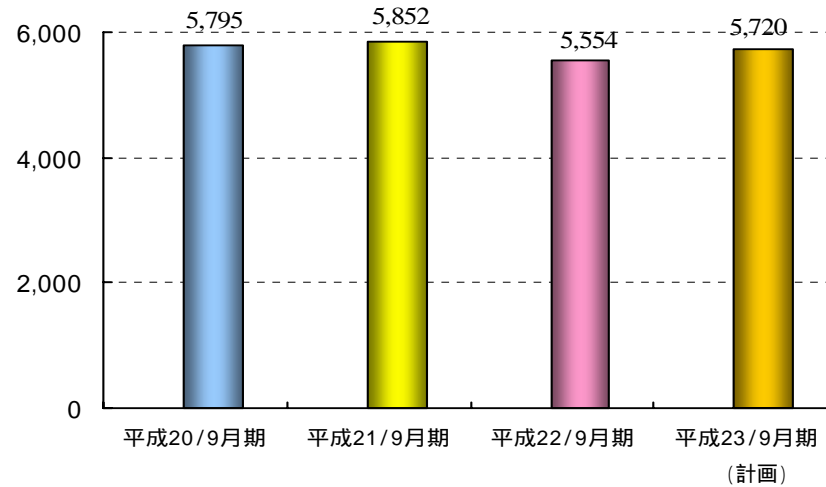
ゴルフ事業

施設・設備の計画的な更新を進めてコースの高品質を維持し、会員様をはじめ来場客の皆様にはプレーを楽しんでいただくとともに、引き続きコストダウンに努め、安定的な利益計上を図ります。ゴルフ預り保証金につきましては、据置期間満了後の対応に目処をつけることは全社的な課題として、計画的に取り組んでまいります。

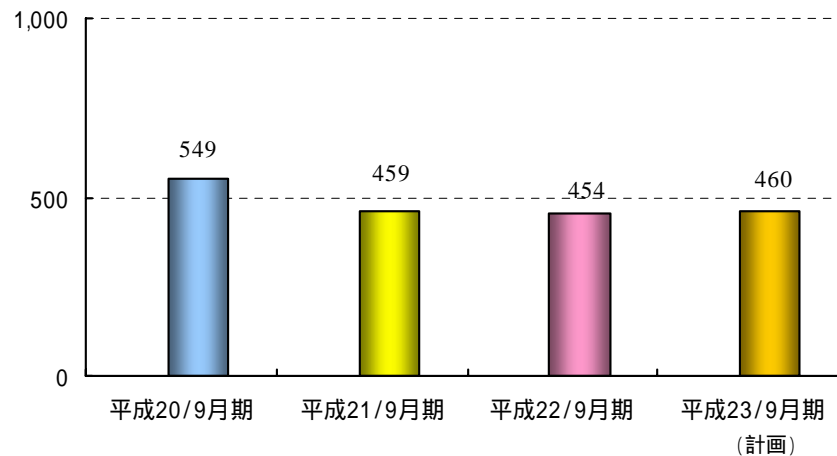
3-3 平成23年9月期 営業収益・営業利益の計画

営業収益

(単位:百万円)



営業利益

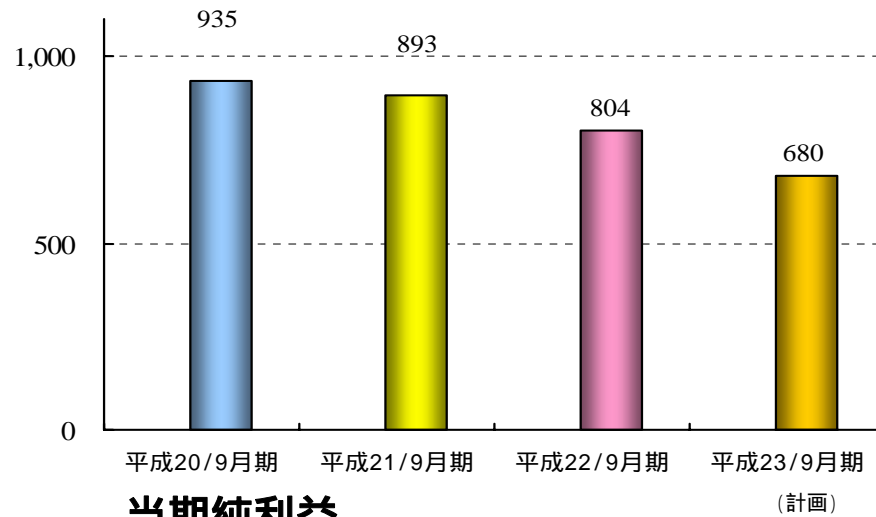


3-4 平成23年9月期 経常利益・当期純利益の計画

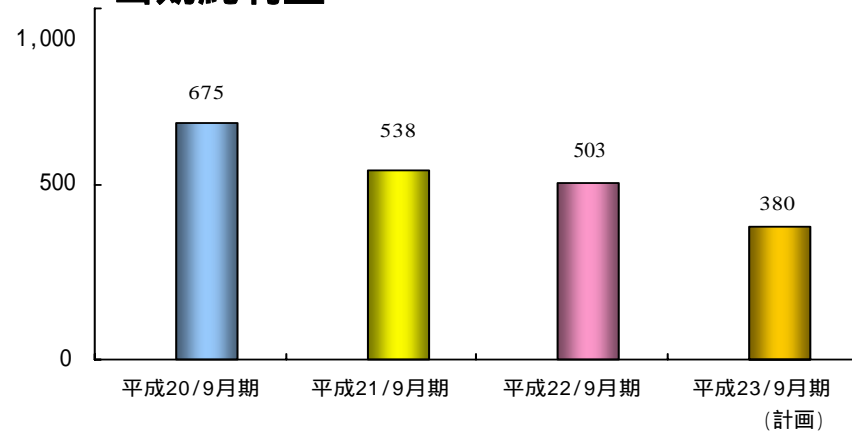


経常利益

(単位:百万円)



当期純利益



(ご参考) 主要な経営指標等(実績)の推移

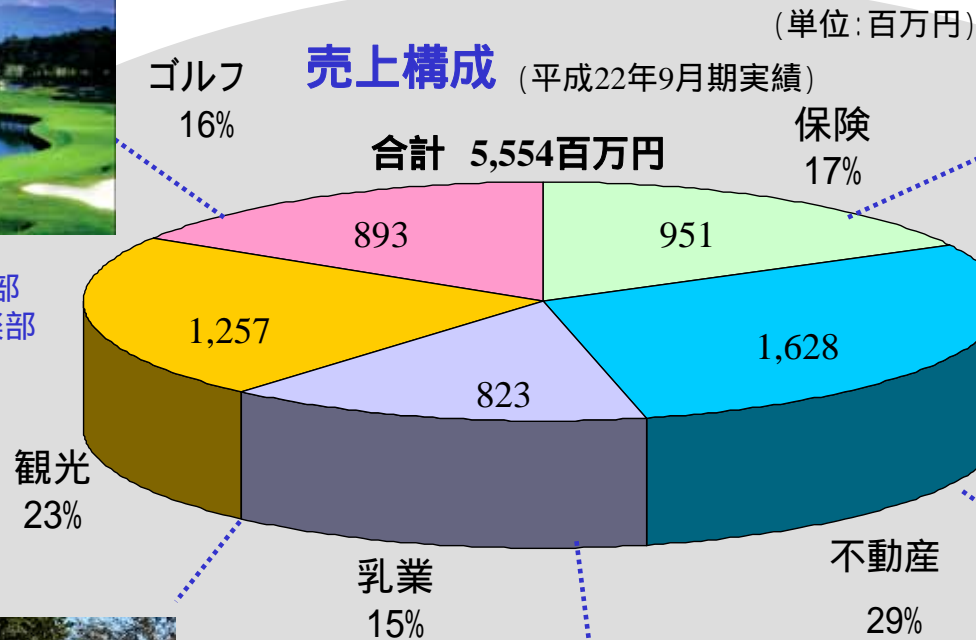


(単位:百万円)	平成18年9月 通期	平成19年9月 通期	平成20年9月 通期	平成21年9月 通期	平成22年9月 通期
営業収益	5,981	5,772	5,795	5,852	5,554
経常利益	985	908	935	893	804
当期純利益	-5,038	606	675	538	503
総資産額	26,438	26,094	25,702	24,685	24,418
内 現金及び預金	3,717	3,962	3,929	3,125	3,076
総負債額	21,469	20,513	19,595	18,119	17,424
内 預り保証金	18,281	17,326	16,233	15,097	14,529
内 有利子負債	2,350	2,250	2,050	1,950	1,850
純資産額	4,969	5,580	6,106	6,566	6,993
内 資本金	4,340	4,340	4,340	4,340	4,340
1株当たり純資産額	354.72円	398.57円	436.34円	469.29円	499.91円
自己資本比率	18.8%	21.4%	23.8%	26.6%	28.6%
従業員数 (名)	192	171	161	164	156
(他平均臨時雇用者数)	(117)	(128)	(139)	(151)	(146)

(ご参考) 事業内容のご紹介



ホウライカントリー倶楽部
西那須野カントリー倶楽部の
運営



損害保険代理店業務
生命保険募集業務



レジャー施設・レストランの運営
土産品・乳製品等の販売



乳製品(牛乳・アイスクリーム・
ヨーグルト)の製造・販売



ビル・不動産の賃貸・管理